



平成24年春の叙勲伝達式

受賞された方々は、永年にわたり国民の生命、身体及び財産を火災等の災害から防御するとともに、幾多の災害に對して、率先垂範して敢然と立ち向かわれ、地域の安全・安心の確保に尽力されました。

また、消防力の強化、充実に努めるとともに、消防の発展に貢献し、社会公共の福祉の増進に寄与されたこと等、これまでの抜群の功績により、その榮譽に輝かれました。今回の叙勲の伝達式は平成

平成二四年春の叙勲が四月二十九日に発令されました。叙勲の受章者(消防関係)は、全国で六一四名、うち兵庫県では、元消防団員・職員二八名が叙勲の榮に浴されました。

# 平成二四年 春の叙勲(消防関係)伝達式が挙行



発行所  
財団法人兵庫県消防協会  
神戸市中央区下山手通4丁目16番3号  
編集発行人 岸谷 義雄  
題字 井戸 知事

消すまでは  
出ない行かない  
離れない



元宝塚市 消防正監 金岡 信重  
◎瑞宝小綬章  
〈兵庫県下受章者(消防功勞)〉

《全国消防関係受章者数》	
瑞宝小綬章	三三名
旭日双光章	一名
瑞宝双光章	一〇〇名
瑞宝単光章	四八〇名
計	六一四名

二四年六月一日(金)午前一時一五分より東京・虎ノ門の日本消防会館ニッショールホールにおいて執り行われ、各代表者に叙勲が伝達されました。午後から受章者の方々は皇居へ参入、拝調した後、記念撮影が行われました。なお、全国の消防関係受章者数、勲章別内訳及び本県の受章者は次のとおりです。



元姫路市姫路東消防団 分団長 石井 勝美



◎瑞宝単光章  
元赤穂市消防団 分団長 粟井 唯司



元神戸市西消防団 団長 安尾 勝



元香美町消防団 団長 本城 繁信



元豊岡市豊岡消防団 団長 西垣豪太郎



◎瑞宝双光章  
元宝塚市消防団 団長 古東 宏之



元宝塚市 消防正監 古村宏太郎



元尼崎市消防団 分団長 前田 敏美



元西宮市消防団 分団長 古田 公雄



元加古川市消防団 副団長 橋本 春樹



元洲本市消防団 副団長 殿脇 修



元西宮市消防団 分団長 大石 恒夫



元西宮市消防団 分団長 江川 駿



元加古川市消防団 副団長 上田 時夫



元豊岡市城崎消防団 副団長 和田 良男



元尼崎市消防団 副団長 宮本 和男



元高砂市消防団 分団長 松下 典生



伝達式に参列された方々

## 「兵庫消防」のリニューアル

兵庫県消防協会事務局

本号から「兵庫消防」を大幅リニューアルしました。一号あたりのページ数を倍増させ、八ページにしました。また、文字サイズを一般新聞紙並に大きくし、より見やすいデザインとしています。発行月については隔月刊(奇数月) 十五日発行となります。六〇〇号を超える伝統ある紙面の更なる充実に努めて参ります。多くの人に見ていただける中身の濃い記事を掲載して参りますので、ご愛顧のほどよろしくお願いたします。



平成24年度 春の褒章伝達式



平成二四年六月六日(水) 一一時一五分よりスクワール 麴町において平成二四年春の褒章伝達式が行われ、総務副大臣から代表者に褒章が伝達されました。  
なお、本県の受賞者は次のとおりです。

《兵庫県下受賞者(消防功労)》

◎藍綬褒章

神戸市垂水消防団 団長 佐藤 博司



姫路市姫路東消防団 団長 前田 昭廣



# 平成二四年度 春の褒章伝達式

〔平成二四年春の褒章が 四月二九日(昭和の日)に発令〕

# 第一八回危険業務従事者叙勲が

## 平成二四年四月二九日に発令

叙勲の業に浴された方々は、消防職員として国民の生命、身体及び財産を火災等の災害から防御するため、永年により著しく危険性の高い業務に精励するとともに消防力の強化、充実に尽力され、消防の発展に貢献し、社会公共の福祉の増進に寄与されました。今回の叙勲の伝達式は、平成二四年五月三〇日(水)午前一時一五分より東京・日本青年館大ホールにおいて執り行われました。

兵庫県下受賞者(消防関係)

◎瑞宝双光章

- 元神戸市 消防監 伊津 憲二
- 元小野市 消防司令長 井上 義三
- 元西宮市 消防監 大西 信彦
- 元神戸市 消防正監 長田 全弘
- 元神戸市 消防正監 片岡 隆夫
- 元神戸市 消防正監 楠本 龍男
- 元西宮市 消防司令長 新家 基弘
- 元三田市 消防司令長 眞造 豊



第18回危険業務従事者叙勲伝達式

- 元川西市 消防司令長 砂田 紀六
- 元尼崎市 消防司令長 田村 靖之
- 元西脇多可行政事務組合 消防監 近井 清
- 元姫路市 消防監 田路 英巳
- 元宝塚市 消防監 永友 聖祐
- 元西宮市 消防監 仲 幸信
- 元神戸市 消防監 服部 功
- 元神戸市 消防正監 福井 啓剛
- 元神戸市 消防正監 三戸 淳吉
- 元姫路市 消防監 宮本 泰光
- 元西宮市 消防司令長 村上 捷治



第18回危険業務従事者叙勲代表受領

◎瑞宝単光章

元神戸市 消防正監 吉田 正雄  
元龍野市 消防司令長 浅見 勝  
元養父市 消防司令長 伊藤 秀雄

# 平成二四年 安全功労者内閣総理大臣表彰

平成二四年七月二日(月)、平成二四年安全功労者内閣総理大臣表彰式が、総理大臣官邸大ホールにおいて盛大に執り行われ、総理大臣から各受賞代表者に表彰状が授与されました。

その後、総理大臣からあいさつ、受賞者代表者謝辞の後、閉会しました。

県下の受賞者は次のとおりです。(敬称略)

王子製紙株式会社神崎工場 自衛消防隊



内閣府安全功労者総理大臣表彰受賞者一同

# 平成二四年度(財)兵庫県消防協会 理事会・代議員会 開催

平成二四年五月二八日(月)ANAクラウンプラザホテル神戸において平成二四年度(財)兵庫県消防協会理事會・代議員會が杉本防災監のご出席のもと開催されました。開會にあたり、岸谷会長から挨拶を、続いて、杉本防災監より祝辞をいただきました。岸谷会長が議長を務めるなか審議が行われ、すべての議案が原案どおり承認されました。



平成24年度 理事会・代議員会の様子



岸谷会長 挨拶



杉本防災監 祝辞

### 主要議案

#### 一、第一号議案

平成二三年度事業報告及び平成二三年度収支決算承認について

#### 二、第二号議案

新公益法人への移行について

#### 三、報告事項

- ①平成二四年度事業計画及び平成二四年度収支予算について
- ②役員等の異動について
- ③平成二四年度消防団員関係の研修について
- ④「ひょうご消防のつどい二〇二二」の開催について

## 平成二四年度版防災白書が閣議決定

防災白書は、災害対策基本法第九条第二項の規定に基づき、政府が毎年国会に對して「防災に關してとつた措置の概況」及び「防災に關する計画」の報告を行うもので、平成二四年度版防災白書が、平成



二四年六月十九日(火)に閣議決定され、国会に報告されました。

平成二四年度版防災白書は全部で構成されており、第一部には「東日本大震災を踏まえた災害対策」に關すること、第二部には「各種災害対策への取組の方向性と平成二三年以降発生した主な災害とその対応(東日本大震災を除く)」に關すること、第三部には「平成二二年度に對して防災に關してとつた措置の概

## 平成二四年度兵庫県功勞者表彰式挙行政

平成二四年五月一七日(木)一三時三〇分から、兵庫県公館において、平成二四年兵庫県功勞者表彰式が執り行われました。表彰は、二二の功勞分野にわたり二四三名の方が受賞されました。そのうち、消防功勞では消



平成24年度 兵庫県功勞者表彰式

防関係者六名の方々が受賞され、消防功勞の受賞者を代表し、姫路市姫路西消防団の梅元前団長が井戸知事から表彰状を受けました。表彰式後、祝賀ティーパーティーが行われ、なごやかに意見交換が行われました。なお、受賞者の方々は次のとおりです。(敬称略)

### ◎消防関係

- |           |       |
|-----------|-------|
| 尼崎市消防団    | 井内 進  |
| 姫路市姫路西消防団 | 梅元 義昭 |
| 前団長       |       |
| 稲美町消防団    | 橘 剛司  |
| 團長        |       |
| 豊岡市日高消防団  | 長岡 健美 |
| 團長        |       |
| 神戸市       |       |
| 前消防司監     | 村上 正彦 |
| 尼崎市       |       |
| 前消防正監     | 野草 信次 |

況」について、第四部には「平成二四年度の防災に關する計画」が取りまとめられました。

昨年の白書に引き続き特集として東日本大震災が取り上げられ、現在の復旧・復興状況が報告されるとともに、大震災を踏まえた今後の災害対策の方向性等についての展望が示されました。

東日本大震災の災禍を再び繰り返さないため、東日本大震災の教訓のもとに、災害対策の改善・充實を図るとともにその教訓を忘れないよう不断の努力が必要とされ、またその際に、想定外があつては

ならず、想像力を働かせ、より多くの教訓を導き出すことが必要とされています。

また、今後発生が懸念される南海トラフ巨大地震等大きな被害が想定されるなかで、あらかじめ復旧や復興の計画を検討し、迅速な取り組みができるようにすべきという指摘もされています。

防災白書については内閣府ホームページ内の防災情報ページで公開されていますので、是非ご覧ください。

### 内閣府ホームページ

<http://www.bousai.go.jp/hakusho/hakusho.html>



知事との記念撮影

# 平成二四年度 兵庫県まとい会理事会・研修会開催

兵庫県まとい会事務局



平成24年度兵庫県まとい会理事会

平成二四年度六月二一日、シーサイドホテル舞子ビラ神戸において、平成二四年度兵庫県まとい会理事会・研修会が開催されました。理事会の主要議題は次のとおりです。

**第一号議案**  
平成二三年度事業報告及び歳入歳出決算について

**第二号議案**  
役員改選について

**第三号議案**  
平成二四年度歳入歳出予算について

なお、第二号議案にもあるとおり本年度、まとい会の役員改選が行われました。その結果、新たに南あわじ市支部の榎本政實さんが会長職を務められることになりました。まとい会会長としては第五代目となります。

**【兵庫県まとい会新役員】**

◎会長  
淡路地区 南あわじ市支部 榎本 政實

◎副会長  
神戸地区 神戸市支部 植垣 勝廣

阪神地区 芦屋市支部 中路 則昭

東播磨地区 明石市支部 木村 正彦

中播磨地区 神崎郡支部 祖父元昭一

西播磨地区 たつの市支部 木津 真人

但馬地区 養父市支部 田村海老男

丹波地区 丹波市支部 松山 修治

◎監事  
阪神地区 宝塚市支部 和田 哲也

淡路地区 淡路市支部 井筒 良夫

また、同日開催されました研修会では、講師師太平洋氏をお迎えし、防災・減災講話として、講演「いなむらの火」をご披露いただきました。過去の災害の教訓から、改めて地域防災力を高めることの重要性を認識することができました。



平成24年度兵庫県まとい会研修会

## ■兵庫県まとい会組織概要

県下全域に熟練した自主防災組織のリーダーを育成することにより、各地域の既設自主防災組織の充実・強化及び未組織地域の組織化を図るとともに、災害に強いまちづくりを推進することを目的として昭和六一年に設立されました。消防団幹部OB及び現役消防団幹部で組織されており、より地域に密着した活動が可能となります。現在県下で、六〇〇名を超す会員数を擁しています。

**事業内容(平成二四年度)**

- ① 研修会の実施
- ② 著名講師による講演
- ③ 防災啓発資材の作成・配布

## 熱中症を防ぐために

消防庁・兵庫県

熱中症の発生がピークとなる七月、八月に向け、消防庁並びに兵庫県において、正しい理解と予防に努めるため、熱中症対策リーフレットが作成されました。

熱中症は、高温多湿な環境下での作業や運動などにより、体内の水分や塩分(ナトリウム)などのバランスが崩れ、体温の調節機能が働かなくなり、体温上昇やめまい、吐き気、倦怠感などの症状を引き起こします。重症になると意識障害を発生させるなど、命に関わる病気です。室外での作業時だけでなく、室内においても環境条件や体調によって熱中症になる場合もありますので、注意が必要です。

熱中症は水分補給や暑さを避けるなど適切な予防を行う事で避けることができる病気です。

暑い夏を元気に過ごすため、熱中症のことをよく知り、しっかりと予防しましょう。

なお、熱中症対策リーフレットは消防庁及び兵庫県のホームページ上で確認できるほか、熱中症にまつわる情報についても閲覧できますので、是非ご確認ください。



## 今夏の節電対策

兵庫県



今年の夏も、関西において電力不足が懸念される状況です。消費電力がピークを迎える夏の電力需要を考えると、一人ひとりの節電意識が重要となってきます。皆さまにおかれましては、既に節電への

取組みを進められていると思いますが、引き続きご協力いただけますようお願いいたします。

また、室内での熱中症を発生する事例も報告されています。熱中症には気をつけていただき、無理のない範囲で節電にご協力ください。

なお、関西電力ホームページにおいて「でんき予報」が発表されており、電力需給ひっ迫時には計画停電が実施される可能性もありますので、随時電力需給の状況をご確認ください。

関西電力ホームページ

<http://www.kepco.co.jp/index.html>

兵庫県ホームページ

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/nk19/natsunosetsuden.html>

消防庁ホームページ

[http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9\\_2.html](http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9_2.html)

兵庫県ホームページ

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/kf17/necchuushou.html>





特集

空を駆ける消防隊!

兵庫県消防防災航空隊・神戸市消防局航空機動隊

七月及び九月の二号に渡って、兵庫県下全域の空を駆ける消防防災ヘリコプターについて、兵庫県消防防災航空隊・神戸市消防局航空機動隊の全面協力のもと、その活動実態を特集します。

兵庫県消防防災航空隊の沿革

●防災ヘリコプター「ひょうご」誕生

兵庫県では昭和五五年七月八日に防災ヘリコプター「ひょうご」(ベル二二三)が配備され、兵庫県警察航空隊に管理委託し運航を開始しました。この運航では、兵庫県下での防災活動のほか、自然環境の保護、交通監視、広報活動等県政のさまざまな局面での活動を担いました。

その後、昭和六三年一〇月一三日に後継機として川崎式BK一七A一四型に機体を更新し、平成八年七月三〇日には川崎式BK一七B一二型に型式変更され、運行を続けてきました。

●兵庫県消防防災航空隊の発足  
昭和五五年から運行を続けてきた防災ヘリコプター

「ひょうご」ですが、平成七年一月一七日に転機が訪れます。ご存知のとおり淡路島を震源地とした阪神・淡路大震災が発生したのです。

このとき、各種のインフラが寸断される中、情報収集や救急搬送、物資・人員輸送の面で消防防災ヘリコプターはその機動力を十分に発揮し、多くの局面で活躍しました。阪神・淡路大震災後、消防防災ヘリコプターの有効性が広く認識されたことから、消防庁は各都道府府に対して、消防防災ヘリコプターの整備並びに消防防災航空隊の設置を強く指導しました。兵庫県にあつては、県警航空隊への運航委託方式を継続しつつ、平成八年九月一日から、兵庫県消防本部より派遣された救助隊員(隊長一名、副隊長一名、隊員六名の計八名)が神戸市消防局航空機動隊から発隊前

の研修指導を受け、同年一月二日に兵庫県消防防災航空隊を発足させることとなりました。

●兵庫県消防防災航空隊・神戸市消防局航空機動隊共同運航

災害対応の迅速化・機動力が求められるなか、消防防災ヘリコプターを有効に活用するため、兵庫県広域消防応援により協定を結んでいた神戸市消防局(警防部航空機動隊)との共同運航において、平成一五年度に断続的な調整が図られました。

兵庫県(一機)及び神戸市(二機)が保有する消防防災ヘリコプターの一体的な運航を図ることに、兵庫県下常時二機体制の効率的な運航体制を実現し、災害及び救急対応をより強化するため、平成一六年四月一日に兵庫県と神戸市による共同運航が開始されました。

これに伴い、航空隊事務所を大阪国際空港から神戸ヘリポートに移転し、組織、事務分掌、機体の運用方法、出動範囲、要請方法、施設、資機材等につ

いてさまざまな調整がなされ、平成一六年八月一日から常時二機稼働体制が正式に確立しました。

その後、兵庫県が平成一八年三月三十一日に、また、神戸市が平成一九年四月一六日に、それぞれ川崎式BK一七C一型に機体を更新し、現在も常時二機稼働体制を続けています。

兵庫県消防防災航空隊の活動

●火災防衛活動

平成二三年中の兵庫県消防防災航空隊の火災出動件数は一六件で、林野火災が一五件、建物火災が一件となっており、林野火災の出動件数が大半を占めています。

林野火災における防災ヘリの活動については、現場上空から情報収集活動を行い、災害の規模を把握し、地上消防隊と情報共有しながら活動方針を協議し消火活動を行っています。

消火方法については、「スーパーパーケット」という撒水器をヘリ下部にあるカーゴフツ

ク装置(機外の荷物を吊り下げて搬送する装置)に吊り下げ、池や河川等から直接吸水を行い上空から延焼部等へ撒水するという活動です。

また、吸水する場所がない場合、地上の消防隊から給水してもらい必要があり、消火栓や防火水槽等からポンプ車等を配置してホース延長を行い、スーパーパーケットへ給水してもらい方法があります。

いずれの場合も、臨時離着陸場の設定が行われたうえで実施されます。

当航空隊が使用するスーパーパーケットは、最大で六〇リットルを汲み出すことができ、大容量の撒水器で、撒水オペレーターという操作員がパイロットと吸水量や撒水場所、撒水方法を調整しながら消火活動を行います。

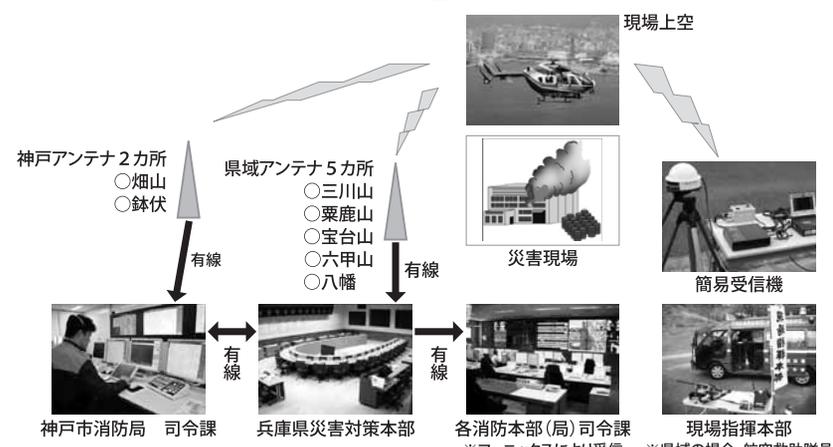
山間部における大規模林野火災の防衛活動においては、悪路や障害物の多さから現場進入及び消火困難な場所が多いことから地上部隊での消火活動が制限されることがあり、ヘリによる空中消火等の支援を行うことで、より迅速かつ効率的に延焼拡大の阻止や被害の軽減が効果的に行うことができます。

資機材等(可搬式ポンプ、ホース等)の現場投入が必要で、陸上部隊による搬送が困難なときなど、ヘリコプターによる搬送投入が有効な手段となります。

さらに、消防防災航空隊の支援活動として、ヘリTV簡易受信装置を持った航空隊員を現場指揮本部へ派遣しており、上空からの画像をリアルタイムに確認し、地上隊と航空隊との連携活動のサポートを行っています。

その他、可視画像以外にも赤外線カメラによる熱画像に切り替えることで、熱源を感知し消火活動のサポートが行うことができ、ヘリを有効利用することで様々な効果があるといえます。

ヘリTV画像送信イメージ



コラム

消防防災ヘリコプターとは?

消防防災ヘリコプターは、消防活動や救急・救助活動、情報収集を支援するために用いられるヘリコプターで、空中消火や航空救急などその機動力を活かし、運航されています。大規模災害に

対応するための広域応援体制も整備されており、東日本大震災においても情報収集などの災害活動にあたり、都道府県域を超えた活動も行われています。

政令指定都市の消防局や都道府県、総務省消防庁などが保有しており、平成二

四年六月一日現在、四五都道府県五四団体が整備されています。

阪神・淡路大震災において、多数の消防防災ヘリコプターにより大規模に救援活動が行われるなど、その必要性が認識され、各地で急速な整備が進みま

※フェニックスにより受信  
※県域の場合、航空救助隊員が現場指揮本部へ搬送。



私が消防団に入団したきっかけは、漁業に従事していることもあり、京阪神地域等に勤めている他の若手住民と比較して地域に明るいであろうこと、また迅速な出動が可能であることから地元消防団員の方々から熱心な勧誘を受け、入団を決意しました。

私が所属している岩屋地区第二分団は、

管轄地域が住宅密集地であり、また、古い家屋も多いことから、建物火災などの際には類焼の危険性を常に抱えているため、非常に迅速かつ適切な消火活動が求められます。このような地域事情の中、現場や月例訓練などで先輩方の指導を仰ぎながら、日々、経験値を蓄えていくという状況です。

消防団の活動は、ほぼボランティアといっても過言ではなく、「奉仕の精神」を持っていない者でないと務まるものではないと思います。有事の際には、昼夜を問わず出動をしなければならぬので、先輩方の消防や防災に対して取り組む姿勢には、本当に頭が下がります。

## われら若手消防団員



### 消防団に入団して

淡路市消防団  
岩屋地区第2分団  
山市 大輔

私にも今後、多くの後輩ができることになると思いますが、私が今、先輩方に対して抱いている想いと同じような気持ちになってもらえるよう、これから日々精進していきたいと思っています。

消防団に入団し、消防防災活動以外の点で特に感じていることは、縦の世代間交流ができること、

す。昨今、どこの地域においても、地域コミュニティの欠乏が問題となっており、訓練や初出式等の後の意見交換会などで、さまざまな世代の方々と時にはお酒を飲みながら、談笑や色々な情報交換ができる場があるという事は非常に重要な機会を得られているのではないかと感じています。この機会を大切に、いっそ地域のみならずと交流を深めていければと思っています。

これから、色々な困難な現場を経験していくことになると思いますが、先輩方とともに地域の安全安心を守っていきけるようがんばっていききたいと思っています。



丹波市消防団  
女性消防分団  
団員  
足立佳菜子

## がんばってます、女性消防団員

### 明るく 楽しく

### 前向きに

私たちが、丹波市消防団女性消防分団は今年で四年目。旧六町の合併に伴い、旧水上町にあった女性消防分団を基に新メンバーの募集により結成されました。十二名と少人数ではありますが、それぞれの持てる力を精一杯出した活動をしていこうと話し合い、まずは以前から取り組んでいる大型紙芝居（ペープサート）を新メンバーにも覚えてもらい、続ける事にしました。

色々知恵を出し合い、時には意見の食い違いなどもありましたが、話し合う事で、また一つの方向を向いて進んでいく事ができています。

仕事と家事を終え、夜の紙芝居の練習は時には大変な時もありましたが、活動服を着て子ども達の前に立つと、何が始まるのだろうと一心に見入ってくれ、終われば大きな拍手をくれる。そんな時はもっと練習をし、子供たちが喜んでくれる事ができたならなとうれしく思います。本年は新しい取り組みとして、高齢者向けに防火・防災をテーマにした寸劇の練習に取りかかっています。

毎年参加させていたいただいている全国女性消防団員活性化大会では素晴らしい活動や活躍を見聞きし、情報を交換する事で、私たちにもまだまだ出来ることがあるはずと、刺激をもらっています。その一つにAEDの普及や応急手当インストラクターをされている消防団の話や聞き、私達もやろうと講習を受け、今では学校、地域へと消防士や救命士の方と一緒に活動させて頂いています。東日本大震災や多くの自然災害が発生していることから防災にも関心が向き、兵庫防災リーダー講座を受講し、防災士として活躍している団員もいます。

女性消防分団に入団した事で多くの事を知り、多くの事に関心を持つ心が出来た事が何よりうれしく思うところで、これからも、女性ならではの目線で子ども達、お年寄りに対し、地域の目配り、心配りのできる女性消防団でありたいと思います。私たちが明るく、楽しく、前向きに活動を続けていきます。



大型紙芝居の様子

### 兵庫県消防協会ホームページ

### 「こんにちはひょうごの消防団です」

### のご利用について

県消防協会事務局

消防団FreeTalk  
掲示板

フリートーク形式による掲示板です。消防団活動へ意見・感想を自由に書き込んでください。女性消防団員の方は、LadiesFire掲示板へどうぞ。

### 消防掲示カレンダー

カレンダー形式で書き込める、消防関係の行事イベント等を紹介する掲示板です。消防出初式、消防操法大会はもちろん分団レベル等の行事でも記入が可能です。消防団に限らず、消防本部等でお知らせしたい行事等がありましたら気軽に利用ください。



